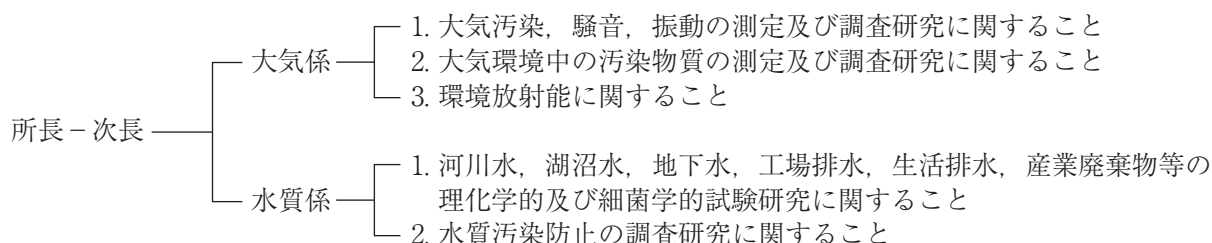


1. 沿革

- (1) 昭和 23 年 6 月 25 日 奈良県告示第 167 号を以て、奈良市登大路町奈良県庁内に奈良県衛生研究所を設置
- (2) 昭和 28 年 3 月 31 日 奈良県条例第 11 号を以て、奈良市油阪町に庁舎を新築移転
- (3) 昭和 41 年 3 月 30 日 奈良市西木辻八軒町に奈良保健所との合同庁舎を新築移転
- (4) 昭和 46 年 3 月 24 日 奈良市大森町に独立庁舎を新築移転
- (5) 昭和 46 年 5 月 1 日 奈良県行政組織規則の改正により、総務課、環境公害課、予防衛生課の 3 課を設置
- (6) 昭和 48 年 4 月 1 日 奈良県行政組織規則の改正により、食品化学課を新設
- (7) 昭和 50 年 2 月 28 日 前庁舎に接して約 1,276m² の庁舎を新築
- (8) 昭和 62 年 4 月 1 日 奈良県行政組織規則の改正により、総務課、公害課、環境課、食品化学課、予防衛生課の 5 課制に編成替え
- (9) 平成 2 年 4 月 1 日 奈良県行政組織規則の改正により、総務課、大気課、水質課、食品生活課、予防衛生課に編成替え
- (10) 平成 12 年 4 月 1 日 県感染症情報センターを所内に設置
- (11) 平成 14 年 4 月 1 日 奈良県行政組織規則の改正により、奈良県保健環境研究センターと名称変更し総務課と試験研究グループ（大気環境担当、水環境担当、食品担当、ウイルス・細菌担当）に編成替え
- (12) 平成 18 年 4 月 1 日 奈良県行政組織規則の改正により、総務課、精度管理担当、大気環境担当、水環境担当、食品担当、ウイルス・細菌担当に編成替え
- (13) 平成 22 年 4 月 1 日 技術担当を置く
- (14) 平成 23 年 4 月 1 日 技術担当を解く
- (15) 平成 25 年 4 月 1 日 奈良県行政組織規則の改正により、大気環境担当及び水環境担当は奈良県景観・環境総合センターの試験研究部門として大気係、水質係に編成替え。奈良県保健環境研究センターは奈良県保健研究センターと名称変更し、総務課、精度管理担当、食品担当、細菌担当、ウイルス・疫学情報担当に編成替え。試験研究施設は桜井市栗殿に新築移転。

2. 組織（試験研究部門のみ）

(1) 機構と事務分掌（平成 30 年 4 月 1 日現在）



(2) 職員構成

(平成30年4月1日現在)

| 区分 | 事務職員 | 技術職員 | | | | 計 |
|-----|------|------|-----|------|-------|----|
| | | 薬学 | 獣医学 | 理工農学 | 臨床検査学 | |
| 所長 | 1 | | | | | 1 |
| 次長 | | | | 1 | | 1 |
| 大気係 | | | | 6 | | 6 |
| 水質係 | | | 1 | 5 | | 6 |
| 計 | 1 | | 1 | 12 | | 14 |

(3) 人事記録

退職及び転出

H30.3.31 次長 高岡 茂 高田しごと i センターへ
統括主任研究員 佐羽 俊也 環境政策課へ
指導研究員 北村 栄治 広域水道センターへ

転入及び昇格

H30.4.1 次長 高木 康人 環境政策課から
統括主任研究員 山下 浩一 保健研究センターから
指導研究員 浦西 克維 廃棄物対策課から
主任研究員 山本 真緒 主任主事から

(4) 職員名簿

(平成30年4月1日現在)

| 係名 | 職名 | 氏名 | 係名 | 職名 | 氏名 |
|-----|---------|-------|-----|---------|--------|
| | 所長 | 藤井 幸雄 | | | |
| | 次長 | 高木 康人 | | | |
| 大気係 | 統括主任研究員 | 中西 誠 | 水質係 | 統括主任研究員 | 山下 浩一 |
| | 総括研究員 | 杉本 恭利 | | 指導研究員 | 平井 佐紀子 |
| | 主任研究員 | 山本 真緒 | | 指導研究員 | 浦西 克維 |
| | 主任主事 | 高林 愛 | | 主任主事 | 川辺 千明 |
| | 主事 | 阪井 裕貴 | | 主任主事 | 長尾 舞 |
| | 技師補 | 中山 義博 | | 主任主事 | 浦西 洋輔 |

3. 施 設（試験研究施設のみ）

(1) 土 地

（平成 30 年 4 月 1 日現在）

| 地 名 | 地 目 | 面 積 | 現在の状況 | 所 有 者 |
|---------------|-----|------------------------|-------|-------|
| 桜井市粟殿 1000 番地 | 宅 地 | 8,741.86m ² | 宅 地 | 奈 良 県 |

(2) 建 物

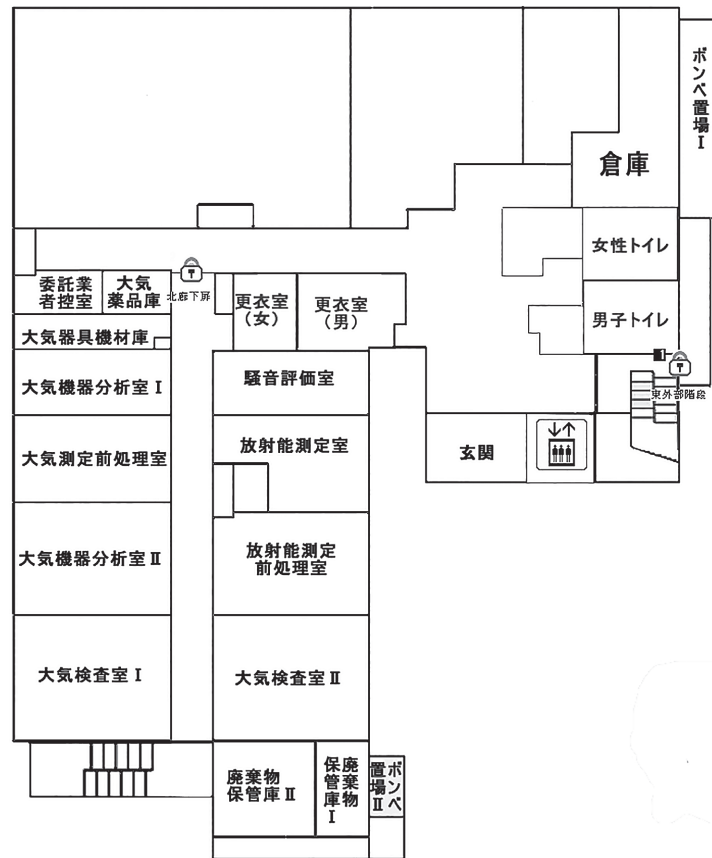
（平成 30 年 4 月 1 日現在）

| 施 設 | 面 積 | 使用開始年月日 | 建物経過年数 | 所 有 者 |
|----------------|------------------------|--------------------|--------|-------|
| 本館鉄筋コンクリート 4 階 | 3,264.17m ² | 平成 25 年 4 月 1 日 | 5 年 | 奈 良 県 |
| （ 本 館 1 階 ） | (860.13) | | | |
| （ 本 館 2 階 ） | (786.77) | | | |
| （ 本 館 3 階 ） | (786.77) | | | |
| （ 本 館 4 階 ） | (786.77) | | | |
| （ 本 館 P1 階 ） | (43.73) | | | |
| 倉庫 | 7.00 | 平成 25 年 4 月 1 日 | 5 年 | |

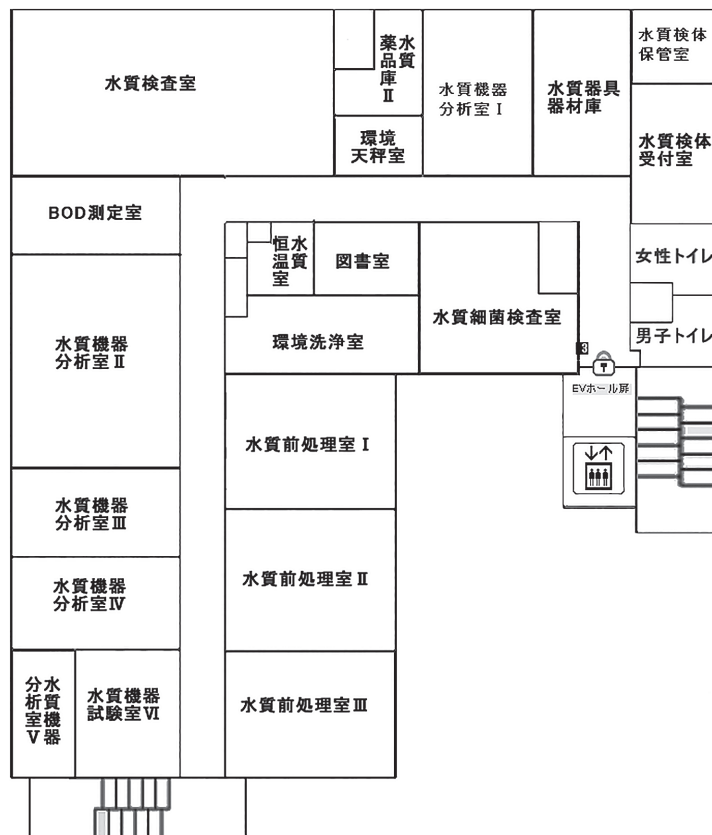
※大気係は 1 階西棟，水質係は 2 階全棟にて試験研究を実施。

(3) 奈良県景観・環境総合センター試験研究施設 配置図

(1階)



(2階)



4. 新規購入備品（単価 20 万円以上）

| 品 名 | 規 格 | 購入年月日 |
|-------------------|--|-------------|
| 高周波誘導結合プラズマ質量分析装置 | アジレント・テクノロジー株式会社製 Agilent7900ICP-MS | H29. 9. 27 |
| ゲルマニウム核種分析半導体検出器 | セイコー・イージーアンドジー株式会社製 GEM25-70 | H29. 11. 16 |
| ハイボリュームエアサンプラ | 紀本電子工業株式会社製 MODEL-120SL | H30. 2. 26 |

5. 予算及び決算（平成 29 年度）

検査手数料（証紙収納額）

（単位 円）

| 種 別 | 内 訳 | 予 算 額 | 証紙収納額 |
|----------------|------|-----------|-----------|
| 景観・環境総合センター手数料 | 大気試験 | 143,000 | 0 |
| | 水質試験 | 3,167,000 | 2,945,390 |
| 合 計 | | 3,310,000 | 2,945,390 |

歳 出

（単位 円）

| 款・項・目 | 予 算 額 | 支 出 額 | 残 額 |
|---------------|------------|------------|-----------|
| (款) 医療政策費 | 280,000 | 269,472 | 10,528 |
| (項) 保健予防費 | 280,000 | 269,472 | 10,528 |
| (目) 保健研究センター費 | 280,000 | 269,472 | 10,528 |
| (款) くらし創造費 | 20,530,028 | 18,719,577 | 1,810,451 |
| (項) 環境管理費 | 20,530,028 | 18,719,577 | 1,810,451 |
| (目) 環境保全対策費 | 17,591,028 | 15,935,341 | 1,655,687 |
| (目) 廃棄物対策費 | 2,939,000 | 2,784,236 | 154,764 |
| 合 計 | 20,810,028 | 18,989,049 | 1,820,979 |

*景観・環境総合センター大気係及び水質係執行分のみ計上（人件費を含まず）

6. 企画情報関連

(1) 職員の出席した学会，研究会，講習会，研修会等

i) 大気係

| 年・月・日 | 内 容 | 開 催 地 |
|-------------------|---|-------|
| H29. 5. 18 ~ 6. 2 | 機器分析研修 | 所沢市 |
| 5. 30 | Dionex IC 技術説明会 | 大阪市 |
| 6. 7 | GC/MS 技術講習会 島津サイエンス | 桜井市 |
| 6. 8 ~ 9 | Ⅱ型共同研究「PM _{2.5} 」閉鎖性海域周辺汚染グループ会合及び技術講習会 | 神戸市 |
| 6. 16 | 国立環境研究所公開シンポジウム | 大津市 |
| 7. 7 | LC/MS/MS 技術講習会 日本ウォーターズ | 桜井市 |
| 8. 28 ~ 9. 1 | アスベスト分析研修 (第2回) | 所沢市 |
| 9. 1 | 全国環境研協議会支部総会 | 京都市 |
| 9. 6 ~ 8 | 第58回大気環境学会年会 | 神戸市 |
| 10. 25 | 平成29年度低周波音測定評価方法講習会(中級編) | 大阪市 |
| 11. 9 | ゲルマニウム検出器セミナー | 東京都 |
| 11. 5 ~ 10 | 環境放射線測定の入門及び環境放射能分析の入門 | 千葉市 |
| 11. 11 | なら県政出前トーク | 奈良市 |
| 11. 13 ~ 14 | 第44回環境保全・公害防止研究発表会 | 長崎市 |
| 12. 14 | 第43回全環研協議会 東海・近畿・北陸支部共同調査研究(越境/広域大気汚染)情報交換会 | 名古屋市 |
| 12. 15 | 全環研支部共同調査研究情報交換会 | 名古屋市 |
| 12. 20 | 全環研騒音小委員会会議 | 東京都 |
| H30. 1. 15 ~ 16 | 化学物質環境実態調査環境科学セミナー | 東京都 |
| 1. 23 | 環境省一般公開シンポジウム | 京都市 |
| 1. 25 ~ 26 | 全環研東海・近畿・北陸支部研究会 | 奈良市 |
| 1. 30 | 放射能の人体影響概論 | 千葉市 |
| 2. 7 | 平成29年度気象解析勉強会 | 東京都 |
| 2. 8 | Ⅱ型共同研究「PM _{2.5} 」高濃度汚染解析グループ及び輸送汚染グループ合同会合 | 東京都 |
| 2. 13 | Ⅱ型共同研究「PM _{2.5} 」レセプターモデル勉強会 | 東京都 |
| 2. 14 | Ⅱ型共同研究「PM _{2.5} 」都市汚染グループ会合 | 東京都 |
| 2. 15 ~ 16 | 第33回全国環境研究所交流シンポジウム | つくば市 |
| 2. 21 | 全国環境研協議会総会 | 東京都 |
| 2. 22 | 地方公共団体環境試験研究機関等 | 東京都 |
| 3. 8 | 文科省平成29年度公開シンポジウム | 東京都 |
| 3. 16 | 大気環境学会環境大気モニタリング分科会第42回研究会 | 東京都 |

ii) 水質係

| 年・月・日 | 内 容 | 開 催 地 |
|-----------------|---|-------|
| H29. 5. 16 | 水質分析セミナー | 京都市 |
| 5. 24 | 水道水質分析セミナー | 大阪市 |
| 5. 26 | 元素分析セミナー | 豊中市 |
| 5. 30 | Dionex IC 技術説明会 | 大阪市 |
| 6. 29 | オートアナライザー・メンテナンスセミナー | 大阪市 |
| 6. 30 | オートアナライザーシンポジウム | 大阪市 |
| 7. 10 ~ 11 | Ⅱ型共同研究「WET 手法を用いた水環境調査のケーススタディ」 平成 29 年度第 1 回ワークショップ | 太宰府市 |
| 7. 19 | 「廃棄物の適正処理・水処理に係る研究助成制度」研究成果発表 会 | 大阪市 |
| 9. 24 ~ 10. 6 | VOCs 分析研修 | 所沢市 |
| 11. 2 | エレメンタルセミナー 2017 | 大阪市 |
| 11. 13 ~ 14 | 第 44 回環境保全・公害防止研究発表会 | 長崎市 |
| 12. 19 | 平成 29 年度奈良県災害廃棄物対策教育・訓練【基礎編】 | 橿原市 |
| 12. 19 ~ 20 | Ⅱ型共同研究「WET 手法を用いた水環境調査のケーススタディ」 平成 29 年度第 2 回ワークショップ | 天津市 |
| H30. 1. 15 ~ 16 | 化学物質環境実態調査環境科学セミナー | 東京都 |
| 1. 25 ~ 26 | 全環研東海・近畿・北陸支部研究会 | 奈良市 |
| 2. 2 | 平成 29 年度全国環境研協議会 東海・近畿・北陸支部有害化学 物質部会 | 大阪市 |
| 2. 14 | 平成 29 年度奈良県災害廃棄物対策教育・訓練【実践編】 | 橿原市 |
| 2. 15 ~ 16 | 第 33 回全国環境研究所交流シンポジウム | つくば市 |
| 2. 22 | GC 及び HPLC 分析基礎セミナー | 大阪市 |
| 3. 9 | 廃棄物資源循環学会中国・四国支部講演会（災害廃棄物関連） | 広島市 |
| 3. 12 | 平成 29 年度環境測定分析統一精度管理調査結果説明会 | 大阪市 |
| 3. 13 | 平成 29 年度環境測定分析統一精度管理東海・近畿・北陸支部ブ ロック会議 | 福井市 |
| 3. 14 ~ 17 | 第 52 回日本水環境学会年会 | 札幌市 |

(2) 施設見学

| 年・月・日 | 見 学 者 | 人 数 |
|-------|-------|-----|
| — | — | — |

(3) 当センター職員を講師とする講演会、技術・研修指導

| 年・月・日 | 内 容 | 対 象 者 | 担 当 |
|-----------------|-----------------------------|-------------------------|-----|
| H29. 9. 12 ~ 15 | 平成 29 年度奈良県立医科大学 公衆衛生学実習 | 奈良県立医科大学医学部 4 年生 4 名 | 水質係 |

(4) 国立環境研究所・地方環境研究所との共同研究

i) 独立行政法人国立環境研究所と地方環境研究所等との第Ⅱ型共同研究

「WET 手法を用いた水環境調査のケーススタディ」水質係 平井佐紀子 長尾舞

「PM_{2.5} の環境基準超過をもたらす地域的 / 広域的汚染機構の解明」

大気係 杉本恭利 山本真緒 高林愛 阪井裕貴

(5) 保健研究センター研究発表会

i) 平成 29 年 6 月 23 日

「GC/MS 法と LC/MS/MS 法による PM_{2.5} 中レボグルコサンの測定検討」大気係 阪井裕貴

「奈良県内の地下水質について」水質係 北村栄治

ii) 平成 30 年 2 月 23 日

「奈良県における PM_{2.5} 成分中のシュウ酸イオンのモニタリング結果について」大気係 高林 愛

「WET 手法による事業所排水の生物影響評価について」水質係 平井佐紀子

(6) 外部評価制度

i) 外部評価制度の導入

調査研究業務に客観的かつ公正な評価を加え、調査研究の充実とその成果の普及を図ることを目的に、平成 19 年度から保健環境研究センターとして外部評価制度を導入している。

平成 25 年度からは、保健環境研究センター大気環境担当・水環境担当が、景観・環境総合センター大気係・水質係へと組織変更され、保健環境研究センターは保健研究センターと名称変更されたが、外部評価制度は両者合同で行っている。

外部評価委員

(平成 29 年 4 月 1 日現在)

| | 氏 名 | 所 属 |
|------|-------|----------|
| 委員長 | 藤井 智康 | 奈良教育大学 |
| 副委員長 | 多賀 淳 | 近畿大学 |
| 委 員 | 矢野 寿一 | 奈良県立医科大学 |
| 委 員 | 須崎 康恵 | 奈良県立医科大学 |
| 委 員 | 瀬戸 繭美 | 奈良女子大学 |

ii) 平成 29 年度評価対象となった調査研究（当センター一分のみ抜粋）

| 担 当 | 主任研究者 | 課 題 名 | 共同研究者 |
|-------|-------|--|------------------------|
| 大 気 係 | 杉本 恭利 | 「微小粒子状物質（PM _{2.5} ）の指標性のある有機炭素成分の一斉分析法の検討とモニタリング」 | 山本 真緒 高林 愛 阪井 裕貴 |
| 水 質 係 | 長尾 舞 | 「ニセネコゼミジンコを使用した WET 法による県内河川水の生物影響評価」 | 平井佐紀子 |

iii) 外部委員による総合評価

平成 29 年度の調査研究について、全体を通じ次のように評価された。

- ・ どの研究も健康に関わる問題であり、大変興味深い内容である。
- ・ 行政の通常の業務をこなしながら精力的に研究を行っている。
- ・ 各研究について、課題も見つかっているので次につなげて欲しい。
- ・ この研究のどこがおもしろいのか、何がわかってどのような効果があるのか、平易に説明できれば良いと思う。小学生にもわかるような表現を用いて、ホームページなどで伝えて欲しい。

iv) 外部委員による個別評価

外部委員による評価は、①目的・目標の達成度、②県民・社会的ニーズへの波及効果、③行政施策への貢献度、活用性、④成果の学術的意義、⑤今後の発展性の観点から行われる。

それぞれについて、5段階評価で行い各委員の平均で表した。

